

# いまどきの歴史

一番新しい日本の一ページ

1999年 人類滅亡?①  
 人類滅亡予言は1年ズレた!?  
 コンピュータ2000年問題

ある予言者によると、再来月あたり私たちは滅亡するらしいが、実際に浮上し、間近に迫っているのがコンピュータ2000年問題。

それは、コンピュータプログラムの多くの場合、西暦が下2ケタで行われているため、2000年を00で入力すると、1900年と解釈し、誤作動してしまうというもの。それに連鎖して、金融機関の混乱や、航空機事故、兵器、医療機器の誤作動など、未知の問題が多発するらしい。米政府は2000年の海外旅行自粛を国民に呼びかけており、事態はかなり緊迫している。「なんや、そんなこと、プログラムを修正したらええやんか」と考えている人はかなりの極楽トンボ。ソフトウェアなら修正できるが、ICチップなどは不可能。目には見えなくても、炊飯器から車のオートロックまで、ICチップ搭載機器は身近にゴマンとある。実際に2000年になるまで、どこで何が起きるのかはまったくの未知。コンピュータ関連の仕事をしている人に聞いたところ、「事態は非常にヤバイ」らしい。年末のカウントダウンを終えた瞬間、いったい私たちに何が起ころのだろう?

## ビル解禁 避妊目的か、性感染症予防目的か ビル解禁がカップルに与える影響



1990年の申請以来、9年目にしようやく経口避妊薬・ビルが解禁されそう。順調にいけば今秋から販売が開始される。コンドーム等と比して、ビルは唯一、女性が積極的に取り組める避妊手段だ。厳正使用すればほぼ100%避妊できる。一方、誤用で死者まで出した男性の性的不能治療薬・パイアグラがわずか申請半年で認可されたというのに、ビルの承認にはあまりにも時間がかかりすぎた。今回のビル解禁は女性団体の反感も影響したのだろうか。

いづれにしても「将来は欲しいが、今は子どもはほらない」という共働き夫婦やカップルにとっては朗報。ビルは性感染症の有無や血液検査などの内診を受けて薬局や医療機関で購入できる。保険は適用外。

しかし、安易に飛びつくのはNG。大切なのはカップルで避妊法・性感染予防法の特徴や長所・欠点などを正しく話し合い、理解し、優先順位を決め、避妊にも適切なものを選ぶこと。望まない妊娠も、性感染症の感染も、理解や意識の低さが大きく関係している。この機会によく考え、学ぶべし。

## 3972年。「2000年の出来事」について質問。

〔猿歴1972年〕

2000年?!!



## 臓器どころか 脳ミゾごと移植 した私ですが...



## 脳死臓器移植

### 死んだ脳、そして生きている臓器 臓器提供者の意志は生かされるか

臓器移植法施行以降、初めての脳死臓器移植が行われた。移植が行われた臓器は心臓、肝臓。いずれの患者も経過は良好だ。

脳死臓器提供はドナーカードと呼ばれる意思表示カードをもとに行われるが、これまでは記入不十分などの理由で断念せざるを得ないというケースもあった。しかし、今回の施行により、臓器提供に対する意識も高まりそう。現に大阪医大前のコンビニに意思表示カードを置いたところ、あっという間に空っぽになってしまったという。

ただ、本人が臓器提供の意思表示をしても、遺族の理解がないと、今後の脳死移植は難しそう。脳死判定の手順もあいまいな点はまだ多い。意思表示カードだけに頼った脳死臓器移植を行っているうち、遺族とのトラブルが発生する可能性も充分ある。脳死は死か否かがいまだ論議をかもしているが、人の死を他人(ひと)の死ととらえず、関係者は遺志に対して最大の敬意を払って取り組んで欲しい。



文◎大塚 祐希

1968年6月26日大阪府八尾市生まれ。パディ・ホリーに憧れるあまり、自分は20歳そこで飛行機事故で死ぬものだと思い込んでいたものの、結局、現在まで生き延びている。周囲が眉をひそめるほどの毒舌使いたが、出版コードに触れることがあまりにも多いため、その性格が誌面に活かされることはまずない。



イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。1991年より京都を中心にフリーで活動。音楽、雑貨に対するこだわりは変人クラス。宝物は愛車ルノー4とスバル360。そして伝説の名器73年型のフェンダーローズ。